

令和7年度
シラバス

青翔開智中学校

第2学年

もくじ

現代文	2
古典	3
社会	4
数学	5
理科	6
音楽	7
美術	8
保健体育（男女合同）	9
保健体育（男女別）	10
技術	11
家庭	12
英語	13
道德	14
STEAM	15
探究II	16

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	国語	現代文	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・小テストなど	ペーパーテスト・成果物・探究スキルラーニングで評価する成果物など	探究スキルラーニングで評価する成果物等・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用・提出物への取り組みなど
教科書・教材	光村図書「国語2」・育伸社「iワーク中2国語(光村図書「国語2」準拠)」・桐原書店「セレクト漢字検定 5級～2級」・エデュケーショナルネットワーク【新版】標準 新演習 中2・大修館書店「ビジュアルカラー国語便覧」		

年間学習計画					
学期	学習内容	時数	主な評価方法		
1学期	・ガイダンス	1			
	・「クマゼミ増加の原因を探る」	7	ペーパーテスト①		
	【知識及び技能(1) オ】文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 【読むこと ウ】文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を理解すること。				
	・メディアの特徴を生かして情報を集めよう/デジタル市民として生きる	3			
	【知識及び技能(2)】情報と情報との関係				
	・探究スキルラーニング「ピブリオバトル」	9	発表		
【話すこと・聞くこと イ】伝えたいことを明確にして話の構成を考えること。 【話すこと・聞くこと エ】話し手の考えと比較しながら、自分の考えを深めること。					
・読書を楽しむ/読書感想文	6	感想文			
【知識及び技能(3)】読書を通して、自分の考えを広げたり深めたりすること。 【書くこと ウ】根拠の適切さや表現の効果を考えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。					
2学期	・表現を工夫して書く(職場体験先への感謝状)	4	手紙		
	【知識及び技能(1) イ】話し言葉と書き言葉を理解すること。				
	・探究スキルラーニング「職業ガイド」情報を整理して伝えよう	10	ポスター		
	【書くこと ア】多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 【情報】思考の視覚化/メディアを比べよう				
	・「モアイは語る」	8	ペーパーテスト②		
	【読むこと エ】観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開について考えること。				
・立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	6	発表			
【話すこと・聞くこと オ】互いの立場や考えを尊重しながら考えを伝え合うこと。					
・「自分らしさ」を認め合う社会へ	2	成果物			
【知識及び技能(3)】読書を通して、自分の考えを広げたり深めたりすること。					
3学期	・読書に親しむ/本の世界を広げよう(新書を読む)	6	成果物		
	【知識及び技能(3)】読書を通して、自分の考えを広げたり深めたりすること。				
	・「君は「最後の晩餐」を知っているか」/「最後の晩餐」の新しさ	8	ペーパーテスト③、鑑賞文		
【読むこと エ】観点を比較して文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えること。 【書くこと イ】伝えたいことや中心的な内容がわかりやすく伝わるように、段落相互の関係や文章の展開を工夫すること。					

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	国語	古典	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・成果物・探究スキルラーニングで評価する成果物など	単元で実施する成果物、ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	光村図書「国語2」・育伸社「iワーク中2国語(光村図書「国語2」準拠)」・大修館書店「ビジュアルカラー国語便覧」・教育出版「中学書写」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	・副詞・連体詞・接続詞・感動詞 【知識及び技能(1 エ)】文法について理解すること。	4	ペーパーテスト①	
	・枕草子 【知識及び技能(3 ア)】作品の特徴を生かして、古典の世界に親しむこと。 【知識及び技能(3 イ)】古典に表れたものの見方や考え方を考えること。	7		
	・「アイヌプラネット」 【読むこと ア】登場人物の設定の仕方などを捉えること。	6	ペーパーテスト②	
	・短歌に親しむ、短歌を味わう、短歌を作ろう 【知識及び技能(3 ア)】作品の特徴を生かして、古典の世界に親しむこと。 【知識及び技能(3 イ)】古典に表れたものの見方や考え方を考えること。	7	成果物	
	・行書で書こう 【知識及び技能(3 ウ(ア))】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	2	成果物	
	・徒然草(仁和寺にある法師) 【知識及び技能(3 ア)】作品の特徴を生かして、古典の世界に親しむこと。 【知識及び技能(3 イ)】古典に表れたものの見方や考え方を考えること。	8	ペーパーテスト③	
2学期	・漢詩の風景 【知識及び技能(3 ア)】作品の特徴を生かして、古典の世界に親しむこと。 【知識及び技能(3 イ)】古典に表れたものの見方や考え方を考えること。	8		
	・「走れメロス」 【読むこと イ】登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。	10	ペーパーテスト④	
	・探究スキルラーニング「行書と仮名を調和させて書いてみよう」 【知識及び技能(3 ウ(ア))】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	4	成果物	
	・「盆土産」 【読むこと オ】文章を読んで感じたことを自分の経験につなげ、広げたり深めたりすること。	6	ペーパーテスト⑤	
3学期	・平家物語 【知識及び技能(3 ア)】作品の特徴を生かして、古典の世界に親しむこと。 【知識及び技能(3 イ)】古典に表れたものの見方や考え方を考えること。	8	ペーパーテスト⑥	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	社会	社会	3	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>【地理的分野】 地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。また、地域相互の関連性・相違点は諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。また、地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p> <p>【歴史的分野】 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。</p> <p>身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p>		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<p>【地理的分野】 日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>【歴史的分野】 歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる。</p>	<p>【地理的分野】 地理的課題を見だし、地域的特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。</p> <p>【歴史的分野】 歴史的事象から課題を見だし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。</p>	<p>【地理的分野】 地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。</p> <p>【歴史的分野】 歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追究し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考慮することができる。</p>
評価の方法	テスト・課題に関する成果物など	テスト・論述・レポート・発表・グループ活動・課題に関する成果物など	課題への取り組み・クラスルームへの投稿・学習内容の振り返りなど
教科書・教材	東京書籍「新しい社会 地理」、東京書籍「新しい社会 歴史」、帝国書院「中学校社会科地図」 東京書籍「中学必修テキスト 社会 地理」、東京書籍「中学必修テキスト 社会 歴史」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	【地理的分野】 ○世界と日本の姿(1年の復習)	4		
	・日本の姿	6		
	○地域調査の手法	2		
	○日本の地域的特色と地域区分(地形～気候～災害～人口～資源・エネルギー～産業～交通・通信)	5	単元テスト①・振り返り	
	○日本の諸地域			
	・九州地方～自然の克服と共生～	3		
	・中国・四国地方～交通・通信を中心に～	4		
	・近畿地方～都市形成と農村の関係～	3		
	・中部地方～産業の分布を中心に～	4	単元テスト②・振り返り	
	・関東地方～世界と結びつく中心都市～	4	成果物など	
・東北地方～伝統と変化～／北海道～大自然と開発～	4			
2学期	探究スキルラーニング「都道府県レポート」～それぞれの地方をまとめ、発表しよう～	8	成果物など	
	【歴史的分野】 ○中世の日本			
	・ユーラシアの動きと武士の政治の展開	7		
	○近世の日本			
	・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	7		
	・江戸幕府の成立と対外政策	5		
	・産業の発達と幕府政治の動き	7	単元テスト③	
	○開国と近代日本の歩み			
	・欧米における近代化の進展	6		
	・欧米の進出と日本の開国			
探究スキルラーニング「江戸三大改革を現代に甦らせる」～もし吉宗や松平定信が総理大臣なら～	4	成果物など		
・明治維新			単元テスト④	
3学期	・日清・日露戦争と近代産業	6		
	○二度の世界大戦と日本			
	・第一次世界大戦と日本	4		
	・大正デモクラシーの時代	3		
	・世界恐慌と日本の中国侵略	5	単元テスト⑤・振り返り	
	・第二次世界大戦と日本	4	成果物など	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	数学	数学	4	必修	ホームルーム

科目の目標	(1) 各単元についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の性質や文字を用いた数量関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各単元についての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	数の性質や文字を用いた数量関係や法則などを考察したりする力、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。		
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業中の発言や取り組み・自己の振り返り・出席率		
教科書・教材	教研出版「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせるこれからの数学2」、人工知能型教材Qubena、旺文社「中学総合的研究 問題集」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス/三角形と四角形	11	ペーパーテスト①	
	データの活用/確率	11	ペーパーテスト② 探究スキル①成果物	
	式の計算	15	ペーパーテスト③	
	平方根	15	ペーパーテスト④	
2学期	2次方程式	15	ペーパーテスト⑤	
	関数 $y=ax^2$	10	ペーパーテスト⑥	
	相似な図形	25	ペーパーテスト⑦	
	円	10	ペーパーテスト⑧	
3学期	三平方の定理	15	ペーパーテスト⑨	
	標本調査	5	ペーパーテスト⑩	
	総復習	8	探究スキル②成果物	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	理科	理科	4	必修	ホームルーム

科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象から問題を見い出している。 見通しをもって観察、実験などを行っている。 得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりすると、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業の振り返り記入・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「未来へひろがるサイエンス2」、新学社「理科の自主学習2年」(自主学習ノート、計算・作図トレーニング含む)、浜島出版「最新 理科便覧」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	【物質】化学変化と原子・分子			
	1章 物質の成り立ち	8	【思】【主】実験レポート①	【知】単元テスト①
	2章 物質の表し方(原子・分子・化学式・化学反応式)	6		
	3章 さまざまな化学変化 探究スキルラーニング「化学かいろの最適条件を探れ」	9	【思】【主】実験レポート②	【思】TSL成果物
	4章 化学変化と物質の質量	8		
2学期	【生命】生物の体のつくりとはたらき			
	1章 生物の体をつくるもの	5	【思】【主】実験レポート③	【知】単元テスト③
	2章 植物の体のつくりとはたらき	8		
	3章 動物の体のつくりとはたらき	7	【思】【主】実験レポート④	【思】TSL成果物
	4章 動物の行動のしくみ 探究スキルラーニング「生物の共通点・相違点」	10		
3学期	【地球】地球の大気と天気の変化			
	1章 地球を取り巻く大気の様子	12	【思】【主】実験レポート⑤	【思】TSL成果物
	2章 大気中の水の変化	7		
	3章 天気の変化と大気の動き	5	【思】【主】実験レポート⑥	【思】TSL成果物
	4章 大気の動きと日本の四季 探究スキルラーニング「気象予報士になろう」	8		
3学期	【エネルギー】電流とその利用			
	1章 電流の性質	8	【思】【主】実験レポート⑦	【思】TSL成果物
	2章 電流の正体	8		
	3章 電流と磁界 探究スキルラーニング「電気の契約」	4		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	音楽	音楽	1	必修	ホームルーム

科目の目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。		
評価の方法	ペーパーテスト・ワークシート/音楽ノート等の記述・実技(歌唱・アルトリコーダー演奏・リズム制作)など	実技テスト・ワークシート/音楽ノート等の記述など	ワークシート/音楽ノート等の記述・ペア/グループワーク・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など		
教科書・教材	教育芸術社「中学生の音楽2・3年上」、教育芸術社「中学生の器楽」、教育芸術社「鳥取県版 音楽ノート 鑑賞資料とワークシート2」、アルトリコーダー				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	音楽が演奏される空間とその響き	2	ワークシートの記述	
	バッハ作曲「フーガト短調」	2	ワークシート/音楽ノートの記述	
	合唱「夏の思い出」	4	ワークシート/音楽ノートの記述・歌唱の実技・実技テスト	
	ペーパーテスト①	1	ペーパーテスト	
	My Melody	4	創作の実技・ペア/グループワーク・発表	
2学期	ベートーヴェン作曲「交響曲第5番 ハ短調」	2	ワークシート/音楽ノートの記述	
	アルトリコーダー・ソロ	4	演奏の実技・実技テスト	
	アルトリコーダー・2重奏	4	演奏の実技・ペア/グループワーク・実技テスト	
	オペラの世界「アイダ」	2	ワークシート/音楽ノートの記述	
	音楽の基礎知識	2	音楽ノートの記述	
	ペーパーテスト②	1	ペーパーテスト	
3学期	日本伝統音楽 文楽	1	ワークシート/音楽ノートの記述	
	日本伝統音楽 歌舞伎	2	ワークシート/音楽ノートの記述	
	ペーパーテスト③	1	ペーパーテスト	
	合唱「翼をください」	3	グループワーク・自己評価	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	美術	美術	1	必修	ホームルーム

科目の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味い、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト 提出作品 ワークシート	ペーパーテスト グループ制作 作品の合評	スケッチブックへの記述・描画 授業中の発言 教師による行動観察
教科書・教材	光村図書出版「美術 2・3」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	画面構成	2	作品提出・取組み観察・ワークシート
	コラージュ	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	部屋の模型	5	作品提出・取組み観察・ワークシート
	読書感想画	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
2学期	色について	1	レポート
	モザイク画	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	鑑賞	2	レポート
	人体模型	5	作品提出・取組み観察・ワークシート
	コスチューム	4	作品提出・取組み観察・ワークシート
3学期	透視画	3	作品提出・取組み観察・ワークシート
	パッケージ	4	作品提出・取組み観察・ワークシート

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	保健体育	保健体育(男女合同)	2	必修	学年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学体育」				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	6	・新体力テスト結果等	
	【球技1】ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	10	・実技テスト ・授業態度	
	【球技2】ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	10	・実技テスト ・授業態度	
2学期	【球技3】ゴール型「バスケットボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解)	10	・実技テスト ・授業態度	
	【陸上】 走運動(短距離走、中・長距離走、リレー)	10	・実技テスト ・授業態度	
	【武道】空手 ・基本形、約束組手	4	・発表会 ・授業態度	
	【球技4/体育理論】ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	6	単元テスト③ ・実技テスト ・授業態度	
3学期		4		
	【球技5】ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	10	・実技テスト ・授業態度	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	保健体育	保健体育(男女別)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等		
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学生体育」				

年間学習計画					
学期	学習内容		時数	主な評価方法	
	男子	女子		男子	女子
1学期	【球技1】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム (パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解) 【保健】 ・生活習慣病 ・生活習慣病の予防	【球技2/体育理論】ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム (パス、トラップ、シュート、攻撃と守備の原則の理解) 【保健】 ・生活習慣病 ・生活習慣病の予防	9	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度
	【球技2/体育理論】ゴール型「サッカー」 ・基本的技能の習得とゲーム (パス、トラップ、シュート、攻撃と守備の原則の理解) 【保健】 ・がんとその予防 ・生活習慣病・がんの早期発見とその回復 ・喫煙と健康、飲酒と健康	【球技1】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム (パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解) 【保健】 ・がんとその予防 ・生活習慣病・がんの早期発見とその回復 ・喫煙と健康、飲酒と健康	4 5	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度
2学期	【ダンス】 ・現代的なリズムのダンス 【保健】 ・薬物乱用と健康 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 ・けがの原因と防止 ・交通事故の実態と原因	【器械運動】 ・マット、跳び箱 【保健】 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本、心配蘇生 ・心身の機能の発達と心の健康	8	・発表会 ・授業態度	・実技テスト ・授業態度
	【器械運動】 ・マット、跳び箱 【保健】 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本、心配蘇生 ・心身の機能の発達と心の健康	【ダンス】 ・現代的なリズムのダンス 【保健】 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本、心配蘇生 ・心身の機能の発達と心の健康	1 1	・実技テスト ・授業態度	・発表会 ・授業態度
3学期	【器械運動】 ・マット、跳び箱 【保健】 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本、心配蘇生 ・心身の機能の発達と心の健康	【ダンス】 ・現代的なリズムのダンス 【保健】 ・交通事故の防止 ・自然災害によるけがの防止 ・応急手当の意義と基本、心配蘇生 ・心身の機能の発達と心の健康	7	・実技テスト ・授業態度	・発表会 ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	技術・家庭	技術	1	必修	ホームルーム

科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
評価の観点	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。		
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・レポート・発表・グループ活動・作品など	カルテの記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価など		
教科書・教材	技術・家庭(技術分野)(開隆堂)・栽培実習・テーブルタップの分解と組み立て・機構モデルの製作など				

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1	カルテ・発表	
	「環境に優しい野菜づくりにチャレンジ！」	1	カルテ・発表	
	・身の回りにおける生物育成の技術を調べ、生活や社会に果たしてきた役割や方法、工夫について考える。	1	ワークシート①提出	
	さまざまな生物育成の技術	1	カルテ・発表	
	・作物、動物、水産生物及び森林に関わる栽培・飼育・育成技術について知る。	1	ワークシート②提出	
	生物育成の技術による問題解決(課題の設定と設計)	1	カルテ・発表	
	・問題解決の手順を知り、生物育成の技術を用いて解決したい問題を見つけ、課題を設定する。	1	ワークシート③提出	
	・設定した課題に基づき、育成環境の調節方法を構想して、育成計画を具体化する。	2	実技	
	・安全・適切に栽培・検査し、必要に応じて適切に対応する。	2	実技	
	・設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、育成環境の調節、成長の度合いなどのデータを記録する。	2	実技・記録作成	
これからの生物育成の技術	1	カルテ・発表		
・生物育成の技術の学習を振り返り、生物育成の技術と私たちの未来についてまとめる	1	ペーパーテスト①		
2学期	「エネルギー変換の技術によって、安心・安全な生活を実現しよう」	1	カルテ・発表	
	①生活や社会とエネルギー変換の技術	1	カルテ・発表	
	②エネルギー資源の利用(資源の種類、発電と送電、効率と省エネ)	1	ワークシート④提出	
	電気の利用	1	カルテ・発表	
	①電気エネルギーの特徴	1	カルテ・発表	
	②熱・光への変換技術	1	カルテ・発表	
	③動力・音・信号への変換技術	1	ペーパーテスト②	
	④回路と回路図	1	ワークシート④提出	
	⑤テーブルタップの分解と組み立て、修理	2	実技	
	エネルギー変換模型の製作	3	実技	
①カム機構模型の製作		作品①		
②クランク機構模型の製作	4	作品②		
3学期	エネルギー変換技能を用いたカラクリ模型の製作			
	・設計	2		
	・製作	3	作品③	
	・発表	2	レポート	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	技術・家庭	家庭	1	必修	ホームルーム

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活と技術について理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけているか。	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践しようとしているか。実践した内容を「評価する」、改善に向けて「表現する」など課題を解決する力を身につけているか。	よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組む、ふりかえって「改善する」、生活を工夫し「創造する」など実践しようとしているか。
評価の方法	ペーパーテスト・実技	ペーパーテスト・発表・グループ活動・作品の製作	提出物・授業中の発言や取り組み
教科書・教材	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	○家庭科ガイダンス	1		
	○食生活			
	食事の役割について考える	2	提出物	
	健康によい食習慣	2		
	中学生に必要な栄養	2	学習に取り組む態度	
	栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	4		
	献立づくり	2		
			ペーパーテスト①	
2学期	○調理をしよう			
	調理の基本	2		
	肉の調理 魚の調理 野菜の調理	4	提出物	
				学習に取り組む態度
	生鮮食品の選択と保存	2		
	加工食品の選択と保存	2	作品製作	
	食品の安全と情報	2		
	地域の食文化	1		
持続可能な食生活をめざして	2	ペーパーテスト②		
3学期	○消費生活と環境			
	消費生活のしくみ	1	提出物	
	購入方法と支払い方法	2		
	情報を活用する	1	学習に取り組む態度	
	暮らしの中のマーク	1		
	消費者被害と消費者の自立	2	ペーパーテスト③	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	外国語	英語	5	必修	ホームルーム

科目の目標	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語を聞くこと・読むこと・話すこと(やり取りと発表)・書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力や論理的思考を育成することを目指す。本学年在籍中に英検3級取得を目指す。また、英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神を獲得し、英語話者や外国にルーツのある人々と関わりながら、多面的思考ができるようになる。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の観点	英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりしている内容を捉える技能を身に付けている。また、事実や自分の気持ちなどを、簡単な表現で相手に伝え合ったり、話したり、書いたりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について聞いたり読んだりして必要な情報や概要、要点を捉えている。また、事実や自分の気持ちなどを、簡単な表現で相手に伝え合ったり、話したり、書いたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手などに配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとしたり、書かれたことを読もうとしたり、伝え合おうとしたり、話そうとしたり、書こうとしている。	
評価の方法	単元テスト	単元テスト(リスニング・リーディング・スピーキング含む) 探究スキルラーニング	探究スキルラーニング 自己評価 リフレクション	
教科書・教材	三省堂「NEW CROWN English Series 2」、三省堂「チャックで英単語 Basic 第2版」、ケンブリッジ大学出版「Game Changer: 1」、学研「中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。」、株式会社Compass「人工知能型教材Qubena」、ELSA, Corp.「ELSA for Schools」			

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション	1		
	Game Changer: Unit 1 Around Town There is/are 構文・頻度を表す表現(Chapter 14 いろいろな文型/ Chapter 3 品詞の基礎 の一部)	10	単元テスト①	
	Game Changer: Unit 2 Delicious Diversity 許可を表すcan・提案を表す表現・代名詞(Chapter 7 複数形・命令文 / Chapter 11 助動詞・have to など)	10	単元テスト②	
	Game Changer: Unit 3 What a vacation! be動詞過去形・There was/were構文(Chapter 9 過去形・過去進行形 の一部)	10	単元テスト③	
	文法演習	14	単元テスト①・②・③に含む	
	探究スキルラーニング①「異文化理解プログラム ~文化を見つめ直してみよう~」(異文化理解講座: Culmony)	20	成果物など	
2学期	Game Changer: Unit 4 We All have a Story 一般動詞の過去形①(Chapter 9 過去形・過去進行形 の一部)	10	単元テスト④	
	探究スキルラーニング②「英語多読絵本を絵コンテと英文で紹介しよう」	8	成果物など	
	Game Changer: Unit 5 Incredible Journeys 一般動詞の過去形②・可能を表すcould(Chapter 9 過去形・過去進行形 の一部)	10	単元テスト⑤	
	Game Changer: Unit 6 Heros Make a Difference 過去進行形①(Chapter 9 過去形・過去進行形 の一部)	10	単元テスト⑥	
	探究スキルラーニング③「アスリートを紹介しよう」	10	成果物など	
	スピーキングテスト	3	単元テスト⑦	
3学期	文法演習	24	単元テスト④・⑤・⑥・⑦に含む	
	Game Changer: Unit 7 Great Ideas 過去進行形②・疑問詞Whoseと所有代名詞	8	単元テスト⑧	
	Game Changer: Unit 8 Our Natural World 不定詞・接続詞(Chapter 12 不定詞(基礎) / Chapter 13 接続詞)	8	単元テスト⑨	
	探究スキルラーニング④ 視野を広げるトレーニング~客観的主張と根拠を添えて~	8	成果物など	
	文法演習(Chapter 14 いろいろな文型 / Chapter 15 比較 / Chapter 16 受け身)	6	単元テスト⑩	
	中2総復習	5		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	道徳	道徳	1	必修	ホームルーム

科目の目標	<p>○レジリエンス教育を通してメタ認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。</p> <p>○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広げ、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる。</p> <p>○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。</p> <p>これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。</p>
評価の観点	<p>多面的・多角的な考察: 物事を様々な角度から捉え、多様な考え方を理解しようとしているか。</p> <p>自己との関わりにおける深化: 道徳的価値を自分自身の問題として捉え、深く考えているか。</p> <p>判断の根拠や心情: 道徳的な判断をした際に、その理由や気持ちを考えようとしているか。</p> <p>他者理解・共感: 他人の気持ちや立場を理解しようと努め、共感的に関わろうとしているか。</p> <p>主体的な学び: 授業に意欲的に取り組み、学んだことを生活に活かそうとしているか。</p> <p>振り返り: 学習を通して自分の成長を振り返り、今後の課題を見つけようとしているか。</p> <p>対話的な学び: 他の生徒との意見交換を通して、自分の考えを深めたり、新たな視点に気づいたりしているか。</p>
評価の方法	<p>数値による評価は実施しない。</p> <p>授業で使用したワークシートや振り返りにおける生徒の記述、授業中のようなすなどから個々の道徳性の成長を見取る。</p> <p>評価は年度末に記述で通知する。</p>
教科書・教材	東書「新訂新しい道徳2」

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 行動目標フェーズ	1		
	異学年交流	2		
	自己決定によって自己の変化を促す	3		
	レジリエンスII ⑤自分から見た自分と他者から見た自分⑥ポジティブ・セルフトーク 自分の強みを持つ	2		
	地域理解(博学連携)	2		
	異文化交流	2		
	PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	1		
2学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成 調査フェーズ	1		
	学年交流	2		
	SNSの使い方(法律の観点から)	1		
	さまざまな障がい	2		
	レジリエンスII ⑦未来のシナリオ	2		
	地域理解(池田家墓所)	2		
	PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定	1		
3学期	ガイダンス/PBISを基にした目標の作成	1		
	レジリエンスII ⑧ワクワクの源	2		
	いのちのもちもの検査	2		
	いのちの授業	1		
	PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り	1		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	次世代	STEAM	1	必修	学年

科目の目標	予測不可能な時代(VUCA時代)において、直面する課題を創造的に解決するために必要な思考力やテクノロジー活用の素養を身に付けることを目的とし、次の3点を目標に設定する。 1:課題解決のための過程を、システム思考の型を活用して設定をすることができるようになる。 2:センサーを用いてデータを収集したり、プログラミングを活用してデバイスを動かしたりすることができるようになる。 3:複数の方法から適切な表現の手段を選択して、自身の考えを表現できるようになる。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	プログラミングを使ってデバイスの制御をすることができるか。 ソフトウェアやアプリケーションの使用方法を理解し、成果物作成のために活用することができたか。	思考ツールを使って課題解決の過程を設定することができたか。 多様な表現ツールを使って共感を得る成果物を作成できたか。	成果物作成にあたり創意工夫を行い、積極的に活動に取り組むことができたか。
評価の方法	プログラミングコード等の成果物 作品等の成果物	各種ワークで作成されたワークシート 各種ワークで作成された作品	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	適宜資料等を配布する		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	○ガイダンス(授業の目的・目標の共有, 年間授業計画の説明等)	1	作品の制作
	○システム思考 ・思考ツール活用ワーク(課題発見)	2	
	○生成AIワーク	2	作品の制作
	○情報の収集 ・アンケート作成、データ収集(Googleフォーム、Googleスプレッドシート等)	3	作品の制作
	・商圏レポート GISを用いた商圏レポートを通して統計データを用いたアイデアの提案	5	作品の制作
	・センサーを活用したデータ収集ワーク(micro:bit使用)		
	2学期	○3Dモデリング ・空間デザイン	7
○プログラミング ・webページ制作を通して、HTML/CSS/JSについて理解を深める。 ・AIを用いたプログラミング		8	作品の制作
3学期	○デジタル表現 ・ピクトグラム制作 ・画像加工	7	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
中学2年	総合的な学習の時間	探究Ⅱ	2	必修	学年

科目の目標	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成する。 (1) デザイン思考を活用した課題解決の過程を通して、課題解決のプロセスを理解し、創造的に課題解決できるようになる。 (2) 職業体験の中から企業が抱える課題を見だし、解決のためのアイデアを考え、まとめ・表現することができるようになる。 (3) チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物ができるようになる。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	デザイン思考を活用した課題解決の過程を通して、課題解決のプロセスを理解し、創造的に課題解決できるようになったか。	職業体験の中から企業が抱える課題を見だし、解決のためのアイデアを考え、まとめ・表現することができるようになったか。	チーム内で役割を分担しながら探究活動を進める中で、自身の役割を精一杯遂行し、時には仲間を助け、よりよい成果物を作ることができたか。
評価の方法	探究活動の成果物(アイデアの試作品や発表会の内容)と成果物作成までの過程(チームでの取り組み状況等)から総合的に評価する。		
教科書・教材	玉川大学出版部「改訂版 学びの技」、株式会社エナジード「ENAGEED CORE vol.4」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	探究ガイダンス	2		
	デザイン思考活用ワークショップ	2		
	○学校に関する課題の解決策を提案しよう	2		
	共感:行動観察の練習	2		
	共感:インタビューの準備	2		
	共感:校長先生にインタビューしてみよう	2		
	問題提起:行動観察の結果をまとめて課題を設定しよう	2		
	アイデア創出:設定した課題の解決アイデア決め	2		
	プロトタイプ:解決アイデアのプロトタイプ作成	2		
	テスト:発表準備	2		
	テスト:発表会①	2		
	発表会振り返り	2		
	職場体験ガイダンス	2		
2学期	データを活用した企業研究	2		
	○「課題解決型職場体験」職場体験準備	2		
	共感:職場体験	2		
	共感:職場体験のまとめ	2		
	問題提起:課題の設定	2		
	アイデア創出:解決アイデアを考える	2		
	プロトタイプ:プロトタイプの計画・設計	2		
	プロトタイプ:プロトタイプの作成	2		
	発表資料の作成	2		
	中間発表会②(校内)	2		
	プロトタイプ作成・修正	6		
3学期	発表資料の修正	2		
	中間発表会③(校内)	2		
	発表資料作成	4		
	発表準備・練習	4		
	青開学会(探究活動成果発表会)	2		
青開学会振り返り	2			
1年間の振り返り	2			